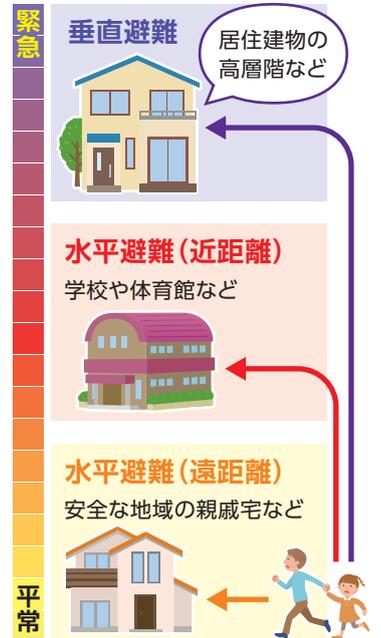




# 避難時の心得

近年発生した豪雨災害を教訓とし、令和3年5月に災害対策基本法(令和3年法律第30号)の改正により、水害・土砂災害について、町が発令する避難情報と気象庁などが発表する防災気象情報が5段階に統一されました。避難のタイミングの参考としてください。ただし、各種情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあるため、**危険を感じたら町が発令する避難指示等を待たずに自主避難を!!**

| 高   | 警戒レベル   | 防災気象情報              | 避難情報   | 住民がとるべき行動   |
|-----|---------|---------------------|--------|---|
| 緊急度 | 警戒レベル 5 | 大雨特別警報              | 緊急安全確保 | 危険な区域からまだ避難できていない方は <b>命を守るための最善の行動をとる。</b>                       |
|     | 警戒レベル 4 | 土砂災害警戒情報            | 避難指示   | <b>避難を完了</b><br>少しでも安全な場所にすみやかに避難                                 |
|     | 警戒レベル 3 | 大雨警報<br>洪水警報        | 高齢者等避難 | <b>高齢者等はすみやかに避難する。</b><br>河川沿いにお住まいの方は、 <b>避難準備が整い次第、避難を開始する。</b> |
|     | 警戒レベル 2 | 大雨注意報<br>洪水注意報      | —      | ハザードマップ等で避難行動を確認  |
|     | 警戒レベル 1 | 早期注意情報<br>(警報級の可能性) | —      | 災害への心構えを高める。  |
| 低   |         |                     |        |   |



あらかじめ予想できる災害については、感染症を避けるためにも安全な親戚宅などへの「分散避難」に努めましょう。日頃から早期避難を心がけ、備蓄などをしっかり準備し、災害に備えましょう。

## ▶ 避難のポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅・ホテルに避難することも考えてみましょう。**
- マスク・消毒液・体温計が不足します。できるだけ**自ら携行**してください。
- 町が指定する避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には町ホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

## ▶ 避難所での感染症対策

- 避難所に入る前に、マスクの着用、検温、体調チェックを行いましょ。
- 食事前、トイレ使用后、ごみ処理後等、石けんと水で手洗いをしましょう。
- 水を十分に確保することが困難で手洗いができない場合は、アルコール消毒液で代用しましょう。
- 咳エチケットを徹底しましょう。
- 飛沫感染を予防するため、咳等が出ていない場合もマスクを着用しましょう。
- 避難所を出入りする場合等、必ず手指の消毒を行いましょ。



## 感染症対策で備蓄品に加えたいもの

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん
  - ▶ 家族もしくは自分用を持参
- 使い捨てのビニール手袋
  - ▶ ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため
- 体温計
  - ▶ 自治体で用意できない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょ。
- 上履き(スリッパでも可)
  - ▶ 床からの接触感染防止  
滑り止め付き：転倒防止・静音機能
- ティッシュ、ウエットティッシュ、ペーパータオル、ビニール袋



**避難所は、多くの方が避難する場所です。「密」になりやすいため、感染症対策を心がけましょ!**